

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 3 週 (2026/1/12~1/18) 感染症発生動向調査速報値 (2026/1/21 時点)】

定点医療機関※新規患者報告数： **307** 人、定点医療機関当たり **6.53** 人

※急性呼吸器感染症定点 (旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科18定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

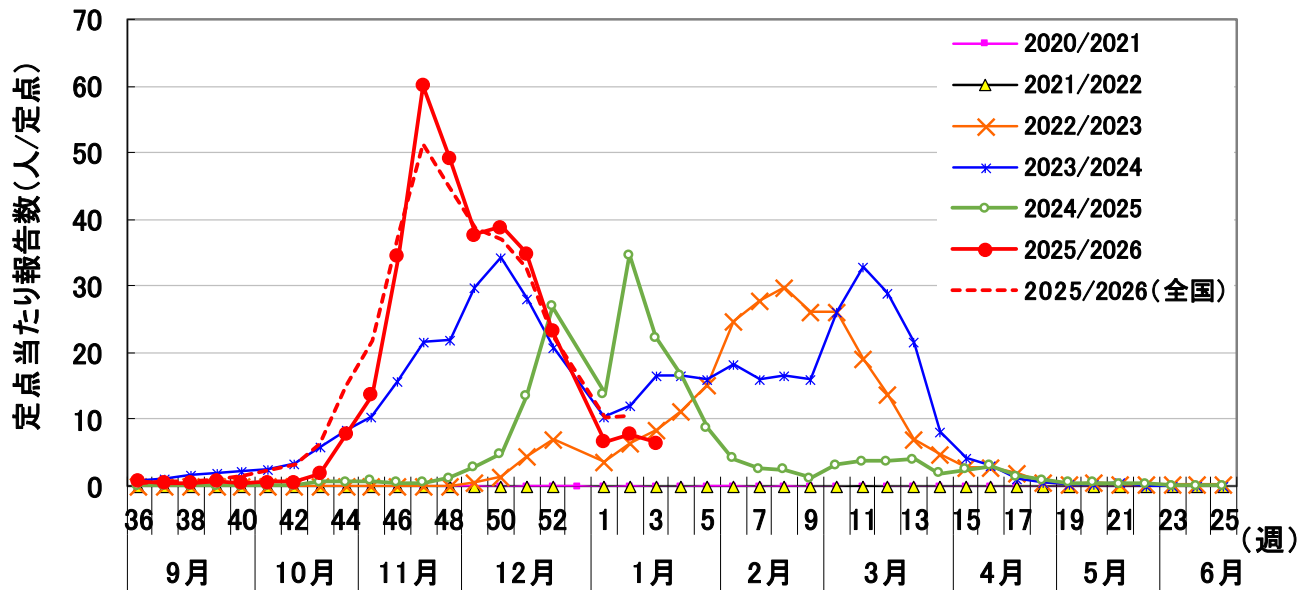
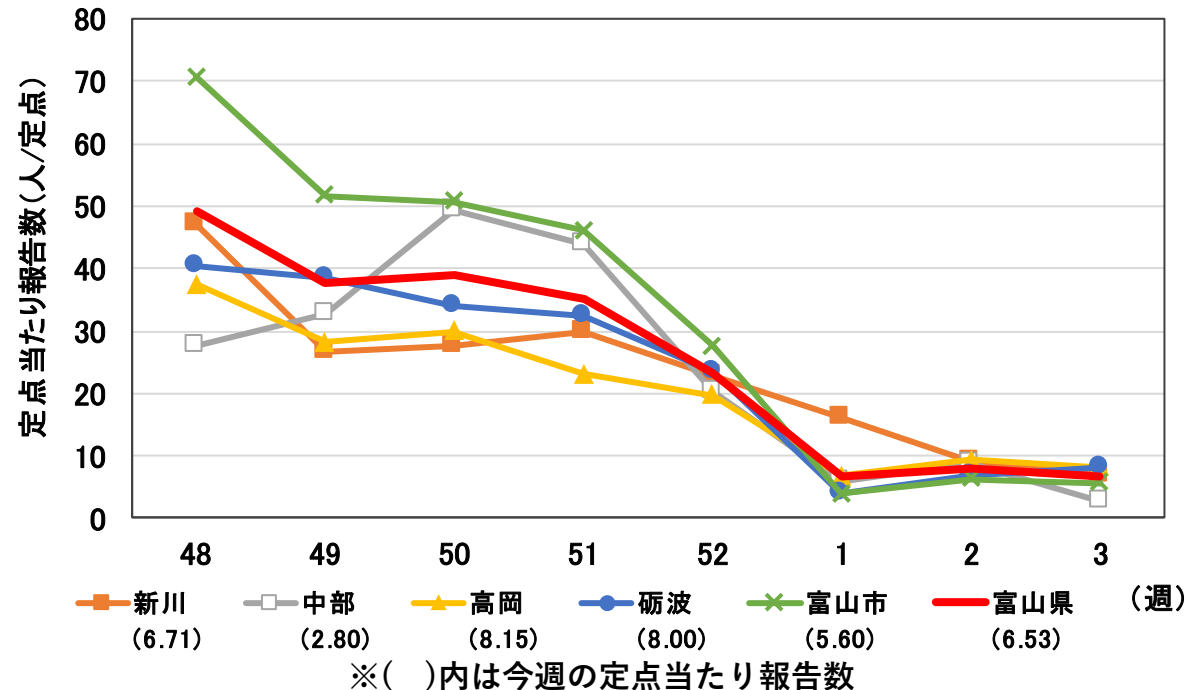


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数は今週6.53人/定点となり、先週 (7.83人/定点) から減少した (図1)。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、砺波管内で先週から増加した一方、その他の管内では先週から減少した (図2)。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

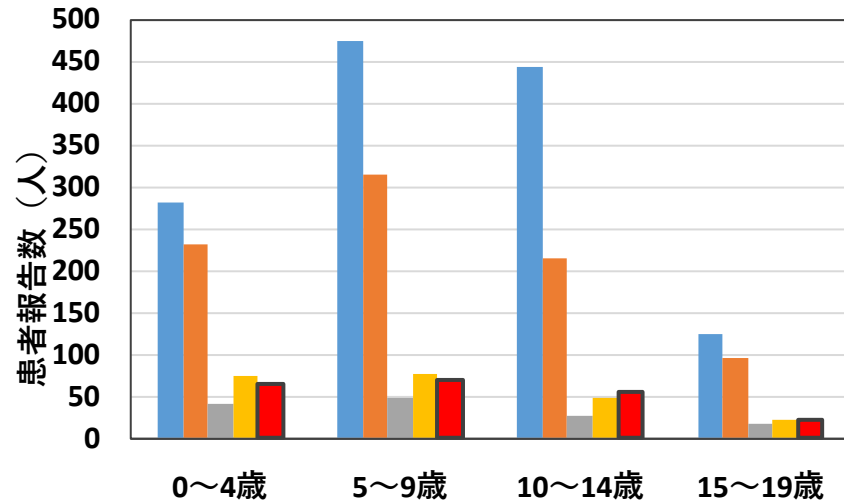
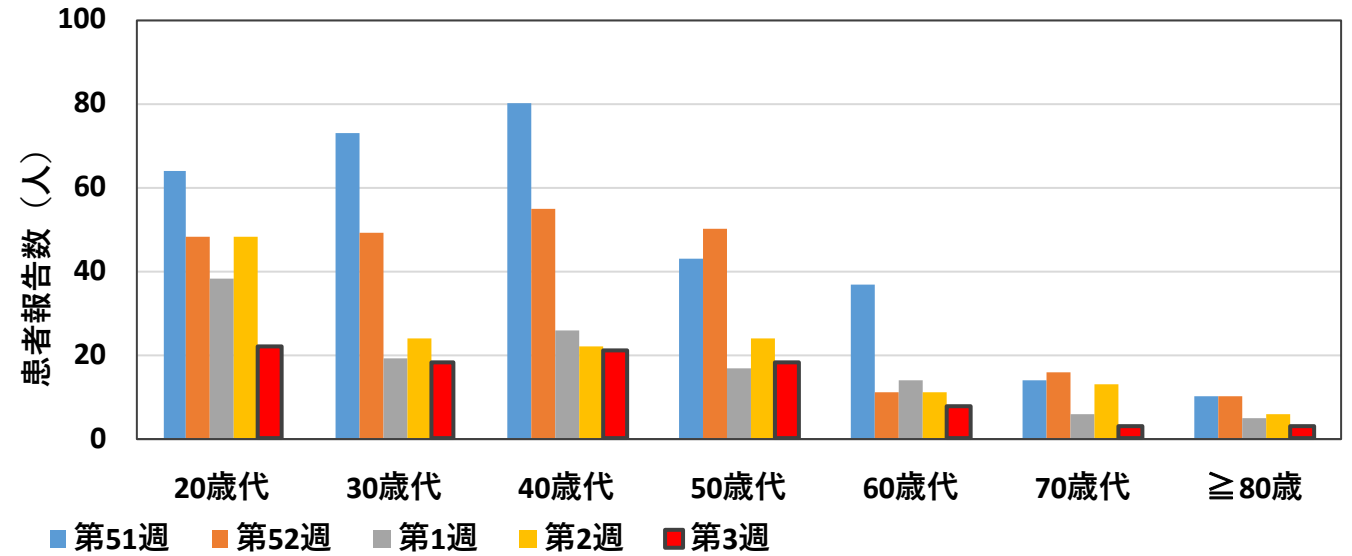


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：18定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 10～14歳で増加した一方、その他の年代では先週から減少または横ばいであった。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第2週)

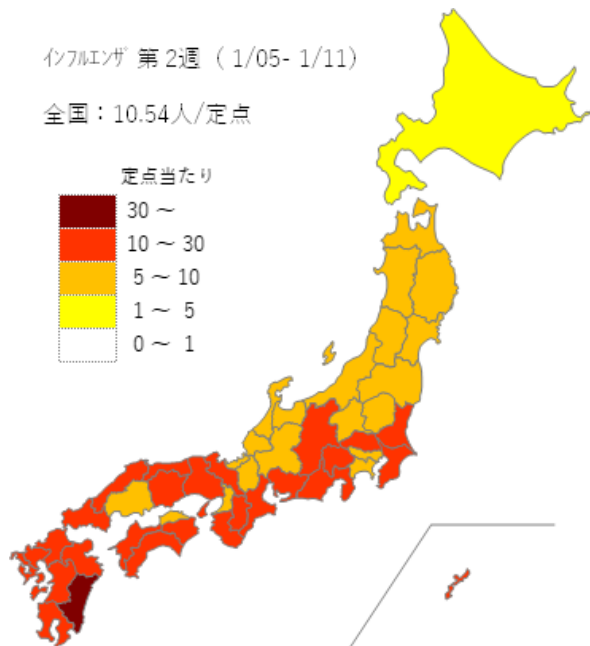


図5. インフルエンザ入院サーベイランス

患者報告数の推移 (富山県)

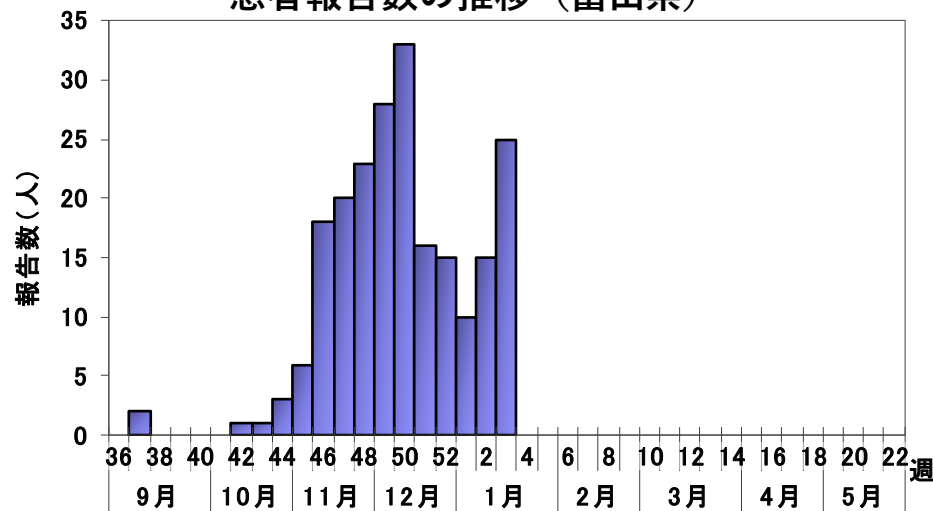
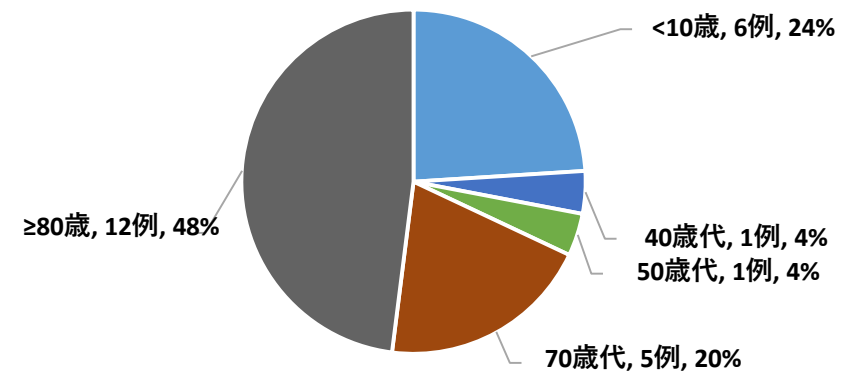


図6. インフルエンザ入院サーベイランス

年代分布 (第3週、25例)



- 全国では第2週に10.54人/定点となり、第1週（10.34）からやや増加した。都道府県別では、1県で警報開始基準の30.0人/定点を超えている（図4）。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週25例の報告があり、先週（15例）から増加した（図5）。
- 入院患者の年代は、10歳未満6例、40歳代、50歳代各1例、70歳代5例、80歳以上12例で、70歳以上が68%を占めた（図6）。
- 第3週はインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が2件（中学校2件）あった（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）。
- 県内の患者報告数は先週から減少した。型別検出割合は、A型69.4%、B型22.1%（第2週10.9%）であり、B型の検出割合が増加傾向であった（[富山県感染症発生動向速報2026年第3週](#)）。引き続き発生動向を注視する必要がある。